

# 給食への 汚染米混入

# 再発防止に全力をあげ コメ輸入中止を求めよ

## 日本共産党が 知事に緊急申し入れ



子どもたちが口にする給食の食材は、安全が何よりも優先されるべきです。日本共産党は、非食用汚染米が千葉県内の学校給食などにも混入していた問題で9月24日、知事にチェック体制の強化や安心・安全な地元産の食材確保など再発防止を申し入れました。学校給食への不信を招いた県教育委員会の責任が重いことは言うまでもありません。同時に国の責任も極めて重大です。汚染米の8

割は輸入米。必要のないミニマムアクセス米を年間77万トンも輸入してきたことが根本にあります。国は、カビなどが混入した輸入米を「主食用」として売却することを容認し、しかも「規制緩和」で米の売買業者を許認可制から届出制に変えたため、流通ルートが分かりづらくなつてしまいました。政府は、ミニマムアクセス米の輸入を中止し、コメ流通の管理責任を果たすべきです。

## 県政のゆがみを正す 共産党の議会質疑

### 公立病院つぶすな 地域医療に責任を果たせ

ひろがる地域医療の危機。これは、自民・公明政権が進めてきた毎年の社会保障費削減や、赤字の公立病院の廃止・統廃合をせまる「公立病院改革ガイドライン」がひき起こしたものです。

銚子では市民の7割が市立病院存続を求めて署名しています。ところが県は「公立病院リストラ」を加速させ、県自らも東金病院など県立病院をなくす動きを強めています。

日本共産党は県にたいし、病院つぶしやめよ、地域医療を支える責任を果たせ、と求めています。

### 三番瀬漁業補償 新たに66億円 真剣な総括と反省を求める

千葉県企業庁は三番瀬をめぐる調停で、新たに市川市行徳漁業協同組合に60億円、南行徳漁協に6億円、合せて66億円を支払うことにしました。この調停は、26年前に県が行った漁協への過った事実上の「事前補償」の後始末であり、その総括も反省もないまま新たに公金を支出するのはあまりにも無責任です。日本共産党は、この問題の背景に、開発優先で進められてきた県政のゆがみがあると指摘。県もこれを事実上認めました。

### 消防救急無線デジタル化 莫大な市町村の負担を指摘

県内31ある消防本部を7つに統合する「消防広域化推進計画」と連動して、消防救急無線のデジタル化計画が進められています。費用はすべて市町村の負担。その総額は、中継局の整備や消防車・救急車、各消防所の無線機などで100億円以上もかかります。デジタル化は、専門家からも通信性能の弱点が指摘されているもの。日本共産党は、住民の目から見れば無駄使いになりかねない、それよりも国の基準に足りない消防職員や、はしご車などを増やすことこそ急ぐべきだ、と主張しました。

県民の願いに各党・会派の態度は

○賛成 ×反対

意見書の趣旨	共産	自民	民主	公明	市社無
自衛隊の海外派兵中止、速やかな撤退を求める意見書	○	×	○	×	○
消費税増税に反対する意見書	○	×	×	×	○
政党助成金の廃止を求める意見書	○	×	×	×	○*
国民健康保険制度改善と充実を求める意見書	○	×	○	×	○
介護保険制度の抜本的改善を求める意見書	○	×	○	×	○

\*印 「市社無」所属の4県議のうち、3人は賛成、1人は反対しました。

## 暮らしと平和を守ってがんばります 日本共産党千葉県議会議員団



**小松 実** (千葉市花見川区)  
<http://komatsu3.ptu.jp/index.htm>



**岡田 幸子** (市川市)  
<http://www.okada-sachiko.com/>



**丸山 慎一** (船橋市)  
<http://homepage3.nifty.com/maruyama-s/>



**みわ 由美** (松戸市)  
<http://www.miwa-3838.jp/>